

6 月 5 日 年間第 10 主日

神は救いに来られる

ルカによる福音書 7 章 11 ~ 17 節

¹¹ それから間もなく、イエスはナインという町に行かれた。弟子たちや大勢の群衆も一緒であった。¹² イエスが町の門に近づかれると、ちょうど、ある母親の一人息子が死んで、棺が担ぎ出されるところだった。その母親はやもめであって、町の人が大勢そばに付き添っていた。¹³ 主はこの母親を見て、憐れに思い、「もう泣かなくともよい」と言われた。¹⁴ そして、近づいて棺に手を触れられると、担いでいる人たちは立ち止まった。イエスは、「若者よ、あなたに言う。起きなさい」と言われた。¹⁵ すると、死人は起き上がってものを言い始めた。イエスは息子をその母親にお返しになった。¹⁶ 人々は皆恐れを抱き、神を賛美して、「大預言者が我々の間に現れた」と言い、また、「神はその民を心にかけてくださった」と言った。¹⁷ イエスについてのこの話は、ユダヤの全土と周りの地方一帯に広まった。

他の朗読：列王記上 17:17 ~ 24 詩編 30:2, 4 ~ 6, 11 ~ 13 ガラテヤ 1:11 ~ 19

Lectio …読む

ナザレ近辺の小さな町でのこの光景を想像できるでしょうか。大勢の群衆、泣き叫ぶ女、そして棺が担ぎ出されています。嘆き悲しむ中心的な人物は年老いた母親です。

この可哀な女はすでに夫を亡くしていました。今や彼女の一人息子が死に、彼女の将来に対する保証は彼と共に消えました。彼女が最低限必要な物さえも与えてくれる人がいなくなり、見捨てられた状態です。彼女の悲しみは痛切で、生々しいものです。

イエスはこの苦しみに同情する群れに加わります。誰もイエスが何かをしてくれるように願ったわけではありませんが、憐れみがイエスに行いを促します。おそらく遺体を埋葬に運ぶために間に合わせに作った、ただ厚い板でしかなかったであろう棺に手を触れます。

ごく小さな行動でしたが、イエスは儀礼的に不浄なものになったので周りの人々はショックを受けます。行列は止まります。イエスは遺体に起き上がるように言います。すると若者は起き上がってものを言い始めたのです。イエスは「息子をその母親にお返しに」になりました。ルカはここで、エリヤによって奇跡的によみがえった別の未亡人の息子について語る列王記上 17 章 22 節のことばを繰り返しています。

人々は、よみがえった若者、その狂喜した母親、彼らの目の前で彼らの偉大な預言者の一人であるエリヤが行った奇跡を繰り返したイエスのうち、誰にまず目を留めるべきか分かりかねています。

恐れと賛美が同時に群衆を捕らえました。メシアについてのザカリアの預言のことばがこだまします。「主はその民を訪れて解放」(ルカ 1 章 68 節)する、と。

この出来事は、背景の中で見るとその意味が重要になります。ルカ 7 章における、この箇所の前後の部分を読んでみてください。この奇跡は、イエスがローマ人の百人隊長の信仰に驚き、その僕を癒した話の後に続きます。イエスは病気に対するご自分の権威を示し、僕が癒されたのです。

今日の福音の後の箇所、洗礼者ヨハネの二人の弟子が訪ねてきます。ヨハネはイエスが久しく待ち望んだメシアであるかどうか確かめるため、彼らを派遣しました。イエスは単に今起こっていることを伝えなさい、と彼らに言います。人々は癒され、死者は生き返り、福音は告げ知らされている、と。ヨハネはイザヤ 35 章 5 節にあるような、イエスがまさに実現しているメシアについての預言を結びつけて考えるに違いないとイエスには分かっていたのです。

Meditatio …黙想する

あなたが悲嘆にくれる群衆のひとりで、一生に一度という奇跡を目撃したと想像してみてください。この奇跡を見た後、あなたはイエスについて何を考えるでしょうか。今日の箇所の前部分では、イエスの病気に対する権威を強調しています。この奇跡は、イエスには死に対する権威があることを示しています。どうしてそのことが重要な意味を持つのでしょうか。

Oratio …祈る

このやもめはイエスに助けを求めませんでした。イエスは奇跡を行うことを選びました。イエスがあなたの生活に介入し、あなたを助けたときについて考えてみましょう。神にあなたの感謝と賛美を表わすための時間をとりましょう。詩編 30 編において作者は自分の証しをしています。このことばにおいても、あなたの祈りを深めてみましょう。

Contemplatio …観想する

ガラテヤ 1 章 11 ~ 19 節において、パウロが福音を宣べ伝えることができたように、神がパウロにイエスを現されたことが読めます。神がどのようにあなたにイエスを現してくれているかについて考え、そしてどうすればあなたも他の人々とあなたの信仰を分かち合うことができるのか、ということについて考えてみましょう。